



あすか野小だより NO.11

生駒市立あすか野小学校
学校だより令和6年2月22日



<https://www.city.ikoma.lg.jp/category/18-10-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

平素は本校教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、本日まで4日に分けて実施しました学習参観並びに学級懇談会に、多数お越し下さりありがとうございました。4月から約1年、成長した姿を保護者の皆様に見守られる中で、子どもたちは励みになったことと思います。3学期も残りひと月ほどとなりましたが、年度末に向けてまとめの活動を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、昨年12月に実施しました「学校評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。結果について職員一同で共有し、より良いあすか野小学校の教育を創造するために反映させていきたいと考えています。集計結果については、次ページ（裏面）にも掲載させていただいております。

児童				保護者			
番号	内容	A+B %	増減	番号	内容	A+B %	増減
①	子どもは、友だち、先生や地域の方たちに自分から進んであいさつをしている。	87	+2	①	子どもは、友だち、先生や地域の方たちに自分から進んであいさつをしている。	60	-5
②	廊下は走らず、右側通行ができています。	72	-10	②	子どもは、正しい歩行の仕方を身に付け、交通ルールを守って登下校している。	88	+5
③	登下校の時、交通ルールを守って歩いている。	92	±0	③	子どもは、遊びや運動を通して体を動かす楽しさを実感し、進んで運動に取り組んでいる。	82	0
④	体を動かして遊んだり運動したりすることが楽しい。	79	-2	④	子どもは自ら学ぶ姿勢を持ち、学習内容の定着を図ることができる。	77	新規
⑤	日記や作文を書くことは楽しい。(R4より)	62	-7	⑤	子どもは、お互いの違いを認め合い、一人ひとりの存在や思いを大切に作る仲間づくりをしている。	88	+1
⑥	何事も最後までやり通すことができた。	86	-2				
⑦	友だちがこまっている時に声をかけたり助けたりしている。	83	0	⑥	話し合い活動を通して子ども同士のコミュニケーション力が育っている。	81	0
⑧	みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができている。	83	0				
⑨	自分にはよいところや得意なことがある。	87	-1	⑦	子どもは、ゲストティーチャーや体験学習からよく学んでいる。	80	-1
⑩	話し合い活動で進んで自分の意見を言うことができています。	78	+1				
⑪	地域の人やゲストティーチャーの方としっかり学習できた。	81	-3				

〔アンケート結果より〕

保護者の皆様の学校評価アンケートでは、7項目中5項目において、A「そう思う」、B「おおむねそう思う」とご回答いただいた割合が80%以上の肯定的な評価をいただきました。しかし、例年課題となっている項目やマイナス傾向になっている項目があり、注視していく必要があります。

【あいさつ】については、保護者、教職員の肯定的評価が60%台で他の項目に比べて著しく低く、子どもと大人の意識の差があり、例年の課題になっています。あいさつは人間関係を築く上での基本となります。あいさつできる子は、毎日しっかりできており、習慣となっています。「大人も子どももあいさつすることで防犯にもつながる」というご意見も複数の保護者の方々からいただいております。家庭・地域・学校が連携し、それぞれの場面でいつでも自然にできるよう習慣づけたいと思います。

【交通ルールを守って登下校】については、保護者、児童ともに90%前後の比較的高い評価となっています。地域見守りボランティアの方々と保護者見守り活動の方で大変お世話になり、安全確保につながっていることに感謝しております。一方で、急な飛び出しや横断歩道のないところを渡っているなどの報告もあり、学校としては、廊下歩行の仕方と合わせて、繰り返し指導していく必要があると考えています。

【体を動かす楽しさを実感する】については、マイナス傾向となっており、日常的に運動に親しむ活動や機会を増やしていくことが求められます。

【自ら学ぶ姿勢、学習内容の定着】については、保護者アンケートで今年度新たに設けた項目ですが、肯定的評価が

80%を切っています。全国学力学習状況調査では、本校の場合、毎年、全国や県の平均を大きく上回っています。一方、集団の中で学力差が開いてきているのをどう支援していくかが課題にもなっています。児童のアンケート結果からは、「日記や作文を書く」「進んで自分の意見を言う」等の「表現」することに関して苦手意識を持っていることが分かります。話し合い活動や交流を通して、児童のコミュニケーション力や表現力を高め、主体的で協動的な学びを深めながら学力の定着を図りたいと考えます。

【仲間づくり】については、保護者88%、教職員87%で約9割近いのに対して、児童は横ばいの83%で約2割は否定的評価です。大人が気づかないところで子どもが抱えているかもしれない不安のあり様をキャッチできるよう、教職員、保護者が連携し、アンテナをはっていく必要があります。

【ゲストティーチャー、体験学習】については、児童、保護者、教職員ともにマイナス傾向になっています。「体験学習を取り入れる」に関しては、保護者アンケートでここ数年、「来年度取り組んだらよいと思うもの」の1位にあがっています。コロナ5類に伴い活動制限が無くなってきている中、学校としても積極的な取組や活動の充実が必要であると考えています。

【主な予定】

- 3月19日(火) 令和5年度卒業式
- 22日(金) 修了式
- 4月8日(月) 始業式
- 11日(木) 令和6年度入学式

